

事業報告書

日時	令和5年6月24日(土) 14:00~16:00
目的	内閣府男女共同参画推進本部では、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」と定めており、おきなわ女性財団では同期間に男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について理解を深めることを目指し、毎年様々な取組を行なっている。 今年度は、アンコンシャス・バイアスとはなにか、どんな事例が身近にあるのかを受講者から募集した事例などをもとにトークセッション形式で楽しく学びながら「男女共同参画」及び「SDGs GOAL5」についての理解を深めることを目的とする。(第6次沖縄県男女共同参画計画DEIGOプラン1-1-1)
対象	関心のある方
講師	第1部：ミニ講話「アンコンシャス・バイアスってなに？」 玉城 直美 氏 (株式会社うなゑ沖縄 社会起業家) 第2部：トークセッション「アンコンシャス・バイアスあるある！」 玉城 直美 氏 (株式会社うなゑ沖縄 社会起業家) 榎森 耕助 氏 (せやろがいおじさん)
会場	ているる1Fホール
参加者数	115名
講演内容(概要)	ジェンダー平等の実現を阻むとされる「アンコンシャス・バイアス」。そもそも「アンコンシャス・バイアス」とは何なのか、どんな事例が「アンコンシャス・バイアス」なのかなどを、QRコードを活用して会場の意見をリアルタイムで確認しながら楽しく学びました。 【第1部】ミニ講話「アンコンシャス・バイアスってなに？」 玉城 直美 氏 (株式会社うなゑ沖縄 社会起業家) 今年の4月から起業し新たな人生を歩み始めていると話す講師は、ジェンダー平等社会実現のためにはアンコンシャス・バイアスが根底に関わってくるので、これをアップデートして新しい価値観をみんなで学び合おうと呼びかけた。 日本は、男女格差が大きい国の一つとされていて、SDGs ランキング166か国中21位、ジェンダーギャップ指数は146か国中125位。私たちは、男性はこうだよね、女性はこうでいいんだよねというジェンダー・バイアスをまだまだ持っている。いろいろな選択を迫られる中で、自分の過去や周りのものを見て判断しがちだが、アンコンシャス・バイアスに気付き一歩立ち止まって見る。そして違う考え方、どうやったら持続可能になるのか、どうやったら自分らしくなるんだということを考えてみるのが良いと話しました。 【第2部】トークセッション「アンコンシャス・バイアスあるある！」 玉城 直美 氏 (株式会社うなゑ沖縄 社会起業家) 榎森 耕助 氏 (せやろがいおじさん) せやろがいおじさんこと榎森 耕助氏と玉城 直美氏が、受講者等から寄せられたアンコンシャス・バイアス事例をカテゴリー分けして、トークセッションを行いました。(以下トーク抜粋) <input type="checkbox"/> 見た目あるある 学校の校則などを考えても、私たちは見た目で人を判断するバイアスがある。学校が持っているバイアスはすごく大きいと思うのでまずは気づくことが大切(玉城) <input type="checkbox"/> 褒め言葉に潜むバイアス よかれと思って言っている場合には指摘が難しい。自分は女だから、男だから、とその呪いで自分を苦しめる場合があるが、次の世代にこの呪いをかけないためには子どもへの声掛けの言葉はすごく大事(榎森) <input type="checkbox"/> 男性編 「男には養わなければならない家族がいる」などということはない。男か女ではなくて両方だよね、がジェンダー平等だったが、SDGsは誰ひとり取り残されることのない社会を実現するために、社会全体が1人の人を応援していく仕組み(玉城) <input type="checkbox"/> 生活に潜むアンコンシャス・バイアス 「男性が保育園に迎えに来るとよい父親と思ってしまう」という事例について)男性がまだまだ子育てに参画できていない中、参画している男性をこういうモデルケースが増えてきたらいいよね、という意味で褒めるのは有りなのでは(榎森) 人間として褒めて育てるという視点ではいいと思うので手法としてはありなのかと思うが、言い続けることで男性がこれでいいんだと思ってしまうこともあるので、言い続けるだけでは社会は変わらないと認識した方が良い(玉城) <input type="checkbox"/> アップデートしたくない人あるある 新しい、こういうことに困っているよ、とかこういうのを変えていこうという反発する声必ず上がる。「逆差別」という言葉を言う人にどういう順序立てて話していくのかという難しさを感じる(榎森) <input type="checkbox"/> まとめ アンコンシャス・バイアスは「鼻毛」に似ている。言われないと気づけないけど、言われたら恥ずかしくて反発したくなるが、鏡で自分を見つめ直してちょっと痛いと思いながらプच्छと抜いてすっきりしてありがとう教えてくれてと言った方が実りがあると思う(榎森)
参加者の声	(自由記載欄より抜粋) ・トークセッションは分かりやすく、楽しくアンコンシャス・バイアスを学びました。 ・互いを思いやる心と多面的に物事を考えるととても良い機会でした。「アンコンシャス・バイアス」、初めて聞く言葉でしたが、今後、自分なりに学んで行きたいと思います。 ・面白かったです。こういうのを小中学生からあたりまえのように学べたらいいな。 ・時代は変わっていているのですね。 ・知らず知らず男性や女性を限定した発言をしていたことに気づかされました。
写真	   <p>玉城 直美 氏 榎森 耕助 氏 講座の様子</p>
主催等	主催：沖縄県、(公財)おきなわ女性財団